

事務事業 No./名称	□サービス部門 経企-08 秘書・式典事務 ■支援部門						
主管課	秘書広報課(秘書課)	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	新春のつどいの適正負担。交際費の適正な運用。超過勤務の縮減。						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源 状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	8,219	7,338	13,633			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	8,219	7,338	13,633			
	人員配置数	4.0	4.0	6.0			
	人件費(千円)	34,919	34,921	55,449			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費(千円)	43,138	42,259	69,082			
	市民1人当 りの経費(円)	243	239	391			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
新春のつどい参加者	X	目標値	410	420	430	430	430
		実績値	415	350	323		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標達成後経過 ※補正あり							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
秘書事務	5,827千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	市長及び副市長にかかる秘書事務			
交際費	422千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	市長及び副市長にかかる交際費の執行管理			
市政功労者表彰事業	1,029千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	本市内において市政の振興等に功労のあった方を表彰する			
頌徳会等事業	941千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	頌徳会総会の運営、新春のつどい負担金の執行管理			
名誉市民事業	0千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	名誉市民選考委員会運営(名誉市民が選考された場合は式典費用)			

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	平成22年7月に実施された事業仕分け及びその後の市民意識調査アンケートで新春のつどい、頌徳会、市政功労者表彰事業、名誉市民事業について、不要を含めた様々な意見をいただき、それらを踏まえた事務の推進が引き続き必要だった。
課題解決のための取組	・新春のつどいについては、料理内容を見直し、飲料を除いた料理の経費(税・サービス料を除く)と会費を同額とし、経費の削減を行った。 ・市政功労者表彰式の会場を民間ホテルへの委託から鎌倉芸術館に変更するとともに、祝賀会の食事をケータリングサービスに変更することで約25%の経費削減を行った。
未解決の課題	平成24年4月19日～5月7日にかけて開催を予定している「鎌倉市名誉市民 平山郁夫追悼展」の円滑な実施に向けた準備

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		平成22年7月に実施された事業仕分け及びその後の市民意識調査アンケートで新春のつどい、頌徳会、市政功労者表彰事業、名誉市民事業について、不要を含めた様々な意見をいただき、それらを踏まえた対応を引き続き進めてきた。今後ともこれらの経過も踏まえ、関係機関とも調整しながら適正な事務の執行に努めていく。	課長等名	
		③有効性 ○			B	秘書広報課長
		④公平性 ○				奈須 菊夫

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
秘書事務	主な個別事業	550 事務嘱託員報酬	1,320	1,320	■適切 □見直し余地あり
		550 来客贈呈用記念品購入費	441	288	■適切 □見直し余地あり
		550 市長賞副賞カップ購入費	371	341	■適切 □見直し余地あり
		550 事務嘱託員費用弁償	132	49	■適切 □見直し余地あり
		550 秘書システムサーバ保守料	82	82	■適切 □見直し余地あり
		550 秘書システムメンテナンス業務委託料	290	289	■適切 □見直し余地あり
		550 自動車借料及び電子複写機等賃借料	1,092	997	■適切 □見直し余地あり
		550 全国市長会負担金	778	778	■適切 □見直し余地あり
		550 全国市長会関東支部負担金	40	40	■適切 □見直し余地あり
		550 神奈川県市長会負担金	603	603	■適切 □見直し余地あり
		550 神奈川県都市副市長会負担金	15	15	■適切 □見直し余地あり
交際費	主な個別事業	551 交際費	1,000	422	■適切 □見直し余地あり
市政功労者表彰事業	主な個別事業	554 市政功労者表彰記念品購入費	457	454	■適切 □見直し余地あり
		554 市政功労者表彰式祝賀会食糧費	250	225	■適切 □見直し余地あり
頌徳会等事業	主な個別事業	555 頌徳会総会懇親会賄い	700	320	■適切 □見直し余地あり
		555 新春のつどい負担金	690	586	■適切 □見直し余地あり
名誉市民事業	主な個別事業	1158 名誉市民選考委員会委員謝礼	102	0	■適切 □見直し余地あり